

愛知県一宮保健所と懇談を行いました

5月8日、愛知県一宮保健所と懇談しました。懇談に参加したのは、彦坂和子市議、すやま初美(県副委員長、日本共産党愛知県委員会新型コロナウイルス対策本部長)、渡邊智史(日本共産党一宮市市民運動部長)の3名で、保健所からは2名の方にご説明いただきました。



懇談する彦坂和子・すやま初美(右から)

新型コロナウイルス感染症対策で忙しい中、現在の対応状況や要望などを伺いました。

現場の状況も踏まえ、政治が役割を果たせるよう、今後に生かしていきます。

新型コロナ 市民の声を紹介します

休業の補償や生活費でお困りの声(早く給付金問題を解決してほしい、市民への経済支援をしっかりとしてほしい、休業中で家賃が払えず困っている、自分たちは給料が減り大変…など)/**暮らしを支える施策を求める声**(テイクアウトできる店舗の情報が知りたい、マスクが買えるようにしてほしい、乳幼児の家庭への除菌シートなどの配布、奨学金返済の猶予…など)/**検査体制の拡充を求める声**(どこでもPCR検査を受けられるように)/**社会生活に必要な業種への支援を求める声**(医療関係・スーパーなどの混雑による従業員の感染症のリスクの対策を…など)/**その他**(市からの情報発信が少なく不安、下水道の完備…など)

寄せていただいた声を生かして、要望・活動を行っていきます。

新型コロナに関するご意見・ご要望などお聞かせください

- 日本共産党一宮尾北地区委員会 TEL45-5424、FAX45-5347
- 日本共産党愛知県委員会 coronataisaku@jcp-aichi.jp

一宮市も一律 10 万円の支給実施！

～いのちとくらしを最優先に制度を活用しましょう～

市民と野党の声が政治を動かした、一律 10 万円の給付金です。

一宮市では、オンライン申請が 5/11(月)より、郵送による申請は 5 月 25 日(子育て世代のひとり親世帯は 5/18 日)の週から申請書が発送されます。

郵送による申請に必要なもの

- ・郵送されてきた申請書(自筆署名や口座情報など記入)
- ・本人確認書類(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードのコピー)
- ・振込口座が確認できる書類(キャッシュカードや通帳最初の見開き)のコピー

オンライン申請(パソコンまたはスマートフォン)に必要なもの

- ・世帯主のマイナンバーカード
- ・マイナンバーカードに対応する IC カードリーダーまたは i P H O N E 7 以降、もしくは対応する A n d r o i d スマートフォン

- マイナンバーカードの新規発行より、郵送による申請の方が早くなると思われます。新規発行や暗証番号変更のために庁舎に行き、3 密の危険性を高めるよりは、郵送されてくる書類を待ち、申請しましょう。
- 申請書記入の際は、誤って名前の横の「不要」欄のチェックしないようにしてください。
- 今回の特別定額給付金や、子育て世帯への特別給付金は非課税です。
- 支給以前に経済的に困難という方は、社協の「緊急小口資金」の制度の活用を検討しましょう。市委員会では、「新型コロナウイルスのお困りごと相談」を行っています。

新型コロナウイルスのお困りごと相談

日時 毎週水曜・金曜日 午前 10～12 時、午後 1～3 時

場所 日本共産党一宮市委員会

(市役所本庁舎北、一宮警察署東)

連絡先 ☎ 0586-55-1812



一宮市のコロナ感染症対策緊急予算 決定

5月7日 議会運営委員会が開催され、市当局から「新型コロナウイルス感染症対策として緊急な対応を要する事業（案）」の提案・報告があり承認されました。

★国県事業

- 特別定額給付金給付事業 【*国 10/10】 (財政課)
簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、市民に1人あたり10万円を支給する。(令和2年4月30日に確認した4月27日時点の人口・世帯数で概算)
- 在宅障害者安否確認等支援事業 【*県 1/2】 (福祉課)
在宅生活を強いられている障害者の自宅訪問等による安否確認、緊急的な相談受付及び情報提供等を行い、在宅障害者等の安心の確保を図る。 94万6千円
- 子育て世帯への臨時特別給付金【国 10/10】 (子育て支援課)
感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する観点から、児童手当(特別給付は対象外)の受給者に対し、臨時的措置として対象児童1人当たり1万円を児童手当とは別に支給する。
- 保健センターにおける感染予防対策の増額【国 1/2】 (健康づくり課)
保健センターにおける飛沫感染予防用のマスクや、手指消毒、使用物品の消毒用のアルコール等、必要な物品を購入する。また、乳幼児健診中止に伴う通知の発送及び厚労省から妊婦用に送付されたマスクの配布(国 1/2)などを行う。併せて、妊婦用にマスクを追加して配布する。 161万2千円
- 愛知県・一宮市新型コロナウイルス感染症対策協力金(仮称)【県 1/2】 (商工観光課)
県の緊急事態措置の期間中、休業要請又は営業短縮要請の協力した事業者に対し、協力金50万円を支給する。 6億9246万9千円
- 理美容業新型コロナウイルス感染症対策協力金(仮称)【県 1/2】 (商工観光課)
感染症対策として、自主的に休業した理美容業者に対して、県とともに協力金20万円を支給する。 7110万円



★市独自事業

- 非接触式体温計の購入 (子育て支援課、保育課、教育文化部総務課)
市の各施設に非接触式体温計を配置する。 646万1千円
(放課後児童クラブ58台、市立保育園53台、小・中学校122台など7課計309台)
- オンライン会議推進事業 (情報推進課)
市職員がいわゆる「三蜜」を避けるための方策として、オンライン会議を行うためのタ

- ブレット端末等を購入する。(タブレット端末30台ほか) 265万4千円
 - 一宮市新型コロナウイルス感染症対策協力金【県事業の拡大】 (商工観光課)
県が定める業種において各種要件等に該当せず、県の協力金の対象とならなかった事業者で、休業に協力が得られた事業者のため、県の制度では対象外となっている昼間営業の喫茶店等も対象とするなど、市独自で1事業所あたり10万円の協力金を支給する。 9000万円
 - 一宮市持続化給付金【国事業の拡大】 (商工観光課)
感染症拡大により影響を受ける事業者に対して、国の持続化給付金受給要件である売上減少率(売上が前年同月比で50%以上減少)には満たないものの、売上が前年同月比費で30%以上減少している事業者に対して、市独自で法人は10万円、個人事業者は8万円を上限に給付金を支給する。 4億円
 - いちのみやフード応援企画 ~食べて応援!食べてリラックス~ (商工観光課)
市内飲食店のテイクアウトまたはデリバリーを利用した方、もしくはSNSで応援した方のうち応募された方の中から抽選で特産品を贈呈する。 182万3千円
 - 一宮市小中学生給付金 (教育文化部総務課)
家庭学習のための通信費や教材費への支援として、全児童・生徒(約33,000人)1人あたり5,000円を支給する。 1億6505万9千円
 - オンライン学習環境整備事業 (教育文化部総務課)
臨時休校時においても、自宅でオンライン学習ができるよう、家庭学習動画の配信環境及び貸出用端末を整備する。 9279万6千円
(学習用タブレット端末1,000台、教材動画配信用タブレット端末61台など)
- *【国 10/10】は国が全額負担、【県 1/2】は県が1/2負担、市が1/2負担するものです。
*事業の予算総額は約416億円 そのうち市の負担・予算額(□内の金額)は、国県事業一約7億6612万円、市独自事業一約7億5879万円、計約15億円です。市の財政調整基金をあてます。財政調整基金の残額は7億円です。



「地方創生臨時交付金の飛躍的増額を」 日本共産党など野党

地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応 総額1兆円)は、全国の自治体が地域の実情に応じて事業を実施するための貴重な財源です。県内の市町村では「水道料金の減額」「給食代の無償化」など、工夫を凝らした事業を展開。

日本共産党など野党は飛躍的増額を求めています。全国知事会も、自治体向けに創設した地方創生臨時交付金の飛躍的増額を求めています。

